

民間事業者からの提案を希望するテーマ一覧(令和7年5月現在)

ご提案を希望される場合は、政策推進課・公民連携デスクまでご連絡ください。
【連絡先】0538-37-4805

No	総合計画の位置づけ	テーマと概要										
1	子どもたちの安心	子どもの知的好奇心を高める学びの支援 4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>子どもが様々な学びに触れ、対話を深める機会の創出</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td>・子どもの知的好奇心をくすぐる学びの機会、きっかけづくり ・にこっとにて現在提供されているプログラムは幼児期向けが中心であり、学齢期(小学生・中学生)向けのプログラムの充実が必要</td></tr><tr><td>現在の取組</td><td>・地元企業や連携協定締結事業者に協力いただき、各種講座等を開催 ・子ども向け講座・体験会の開催</td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td>・講座等の広報、参加者募集 ・会場(にこっと)の提供 ・プログラム当日の運営、アンケート実施の協力 ・SNS等による開催報告</td></tr><tr><td>担当課</td><td>こども部こども若者家庭センター ひと・ほんの庭 にこっと</td></tr></table>	目指す姿	子どもが様々な学びに触れ、対話を深める機会の創出	課題・困り事	・子どもの知的好奇心をくすぐる学びの機会、きっかけづくり ・にこっとにて現在提供されているプログラムは幼児期向けが中心であり、学齢期(小学生・中学生)向けのプログラムの充実が必要	現在の取組	・地元企業や連携協定締結事業者に協力いただき、各種講座等を開催 ・子ども向け講座・体験会の開催	提供できるサポート	・講座等の広報、参加者募集 ・会場(にこっと)の提供 ・プログラム当日の運営、アンケート実施の協力 ・SNS等による開催報告	担当課	こども部こども若者家庭センター ひと・ほんの庭 にこっと
目指す姿	子どもが様々な学びに触れ、対話を深める機会の創出											
課題・困り事	・子どもの知的好奇心をくすぐる学びの機会、きっかけづくり ・にこっとにて現在提供されているプログラムは幼児期向けが中心であり、学齢期(小学生・中学生)向けのプログラムの充実が必要											
現在の取組	・地元企業や連携協定締結事業者に協力いただき、各種講座等を開催 ・子ども向け講座・体験会の開催											
提供できるサポート	・講座等の広報、参加者募集 ・会場(にこっと)の提供 ・プログラム当日の運営、アンケート実施の協力 ・SNS等による開催報告											
担当課	こども部こども若者家庭センター ひと・ほんの庭 にこっと											
2	暮らしと健康の安心	現役世代のスポーツ実施率の向上 3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナーシップで目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>日常生活の中で無理なくスポーツや運動を楽しめる環境を整え、現役(子育て)世代の健康づくりと、地域コミュニティの活性化につなげる</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td>・現役(子育て)世代(30～40代)のスポーツ・運動実施率が低く、健康維持やストレス解消の機会が不足している ・仕事や家事、育児で多忙なため、運動に割ける時間が少なく、継続的に参加するのが難しい ・「運動するのが面倒」「一人では続かない」といった心理的なハードルや動機づけの不足がある ・家族で参加できる気軽なプログラムが少ない</td></tr><tr><td>現在の取組</td><td>・大人向け運動教室イベント、ウォーキングイベントの実施 ・スポーツプラットフォーム(R7.1～) 【参考】磐田市スポーツ推進計画 https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/sports_midokoro/1002720.html</td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td>・公共施設(体育館、公園など)等、市内における実施場所の確保 ・ステークホルダー(地域団体、スポーツ事業者、地元企業)との連携 ・市民アンケートや健康データなどの地域ニーズに関する情報の共有</td></tr><tr><td>担当課</td><td>自治市民部スポーツのまち推進課</td></tr></table>	目指す姿	日常生活の中で無理なくスポーツや運動を楽しめる環境を整え、現役(子育て)世代の健康づくりと、地域コミュニティの活性化につなげる	課題・困り事	・現役(子育て)世代(30～40代)のスポーツ・運動実施率が低く、健康維持やストレス解消の機会が不足している ・仕事や家事、育児で多忙なため、運動に割ける時間が少なく、継続的に参加するのが難しい ・「運動するのが面倒」「一人では続かない」といった心理的なハードルや動機づけの不足がある ・家族で参加できる気軽なプログラムが少ない	現在の取組	・大人向け運動教室イベント、ウォーキングイベントの実施 ・スポーツプラットフォーム(R7.1～) 【参考】磐田市スポーツ推進計画 https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/sports_midokoro/1002720.html	提供できるサポート	・公共施設(体育館、公園など)等、市内における実施場所の確保 ・ステークホルダー(地域団体、スポーツ事業者、地元企業)との連携 ・市民アンケートや健康データなどの地域ニーズに関する情報の共有	担当課	自治市民部スポーツのまち推進課
目指す姿	日常生活の中で無理なくスポーツや運動を楽しめる環境を整え、現役(子育て)世代の健康づくりと、地域コミュニティの活性化につなげる											
課題・困り事	・現役(子育て)世代(30～40代)のスポーツ・運動実施率が低く、健康維持やストレス解消の機会が不足している ・仕事や家事、育児で多忙なため、運動に割ける時間が少なく、継続的に参加するのが難しい ・「運動するのが面倒」「一人では続かない」といった心理的なハードルや動機づけの不足がある ・家族で参加できる気軽なプログラムが少ない											
現在の取組	・大人向け運動教室イベント、ウォーキングイベントの実施 ・スポーツプラットフォーム(R7.1～) 【参考】磐田市スポーツ推進計画 https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/sports_midokoro/1002720.html											
提供できるサポート	・公共施設(体育館、公園など)等、市内における実施場所の確保 ・ステークホルダー(地域団体、スポーツ事業者、地元企業)との連携 ・市民アンケートや健康データなどの地域ニーズに関する情報の共有											
担当課	自治市民部スポーツのまち推進課											
3	暮らしと健康の安心	高齢者のボランティア活動への参加促進 3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナーシップで目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らし続けられる環境を整える</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td>・生きがいにつながる活動を増やし、社会参加を促したい ・人との繋がりを通じて介護予防や健康寿命の延伸を目指したい ・ボランティアポイント制度等の運用により、参加者のモチベーション向上を図りたい</td></tr><tr><td>現在の取組</td><td>・通いの場(いきいき百歳体操、高齢者サロン)の運営支援 ・ボランティア登録制度の実施(磐田市社会福祉協議会) ・市民活動センターの運営(自治デザイン課)</td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td>・市内における取り組み実施場所の提供(コミュニティセンター、集会場等) ・ステークホルダー(介護関係者、医療機関、地域事業所等)とのネットワーク構築・連携支援 ・高齢者に関するデータやニーズの共有 ・広報活動(市のホームページ、地域メディア)による取り組みの周知</td></tr><tr><td>担当課</td><td>健康福祉部 福祉政策課</td></tr></table>	目指す姿	高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らし続けられる環境を整える	課題・困り事	・生きがいにつながる活動を増やし、社会参加を促したい ・人との繋がりを通じて介護予防や健康寿命の延伸を目指したい ・ボランティアポイント制度等の運用により、参加者のモチベーション向上を図りたい	現在の取組	・通いの場(いきいき百歳体操、高齢者サロン)の運営支援 ・ボランティア登録制度の実施(磐田市社会福祉協議会) ・市民活動センターの運営(自治デザイン課)	提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(コミュニティセンター、集会場等) ・ステークホルダー(介護関係者、医療機関、地域事業所等)とのネットワーク構築・連携支援 ・高齢者に関するデータやニーズの共有 ・広報活動(市のホームページ、地域メディア)による取り組みの周知	担当課	健康福祉部 福祉政策課
目指す姿	高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らし続けられる環境を整える											
課題・困り事	・生きがいにつながる活動を増やし、社会参加を促したい ・人との繋がりを通じて介護予防や健康寿命の延伸を目指したい ・ボランティアポイント制度等の運用により、参加者のモチベーション向上を図りたい											
現在の取組	・通いの場(いきいき百歳体操、高齢者サロン)の運営支援 ・ボランティア登録制度の実施(磐田市社会福祉協議会) ・市民活動センターの運営(自治デザイン課)											
提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(コミュニティセンター、集会場等) ・ステークホルダー(介護関係者、医療機関、地域事業所等)とのネットワーク構築・連携支援 ・高齢者に関するデータやニーズの共有 ・広報活動(市のホームページ、地域メディア)による取り組みの周知											
担当課	健康福祉部 福祉政策課											

民間事業者からの提案を希望するテーマ一覧(令和7年5月現在)

ご提案を希望される場合は、政策推進課・公民連携デスクまでご連絡ください。
【連絡先】0538-37-4805

No	総合計画の位置づけ	テーマと概要	
4	暮らしと健康の安心	認知症予防に向けた市民主体の取組支援	
		目指す姿	高齢者が自立して暮らし続けられるよう、認知症の予防や早期対応に取り組める環境を整える
		課題・困り事	・高齢者数の増加に伴い、認知症高齢者数の増加が見込まれる ・市民が日常生活の中で予防的に実践できる取組や、初期段階での気づき・支援の仕組みが不足している ・医療や介護に頼る前の「自分でできる予防」「地域で支え合う仕組み」が必要とされている
		現在の取組	・しゃきしゃき百歳体操や高齢者サロン活動の実施 ・老人クラブへの支援
		提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(コミュニティセンター、集会場等) ・ステークホルダー(介護関係者、医療機関、地域事業所等)とのネットワーク構築・連携支援 ・高齢者に関するデータやニーズの共有 ・広報活動(市のホームページ、地域メディア)による取り組みの周知
		担当課	健康福祉部福祉政策課
5	暮らしと健康の安心	フレイル状態の早期発見につながる取組みの実施	
		目指す姿	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らし続けられる地域社会を実現する
		課題・困り事	・フレイル状態にある高齢者の早期把握が難しく、状態が悪化する前に適切な支援を届ける仕組みが不足している ・フレイルからの回復後に、機能を維持するための取り組みが不足している
		現在の取組	・地域リハビリテーション活動支援事業の実施 ・磐田市短期集中予防事業
		提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(コミュニティセンター、集会場等) ・ステークホルダー(介護関係者、医療機関、地域事業所等)とのネットワーク構築・連携支援 ・高齢者に関するデータやニーズの共有 ・広報活動(市のホームページ、地域メディア)による取り組みの周知
		担当課	健康福祉部福祉政策課
6	暮らしと健康の安心	民間事業者との共創による結婚支援の実施	
		目指す姿	安心感のある結婚支援を提供し、市民が信頼して利用できる環境をつくる
		課題・困り事	・結婚支援における最新情報やノウハウの不足 ・事業の効果を測る評価方法が整備されていない ・担当者のスキル向上や、事業継続性の確保
		現在の取組	・婚活イベントの開催(R6実績:3回) ・婚活イベントサポート企業・団体等募集への応募(4件)
		提供できるサポート	・公共施設や市内のエリアの活用支援 ・広報活動や参加者募集の協力、アンケート実施の支援 ・関係機関や異業種との連携サポート
		担当課	こども部こども未来課

民間事業者からの提案を希望するテーマ一覧(令和7年5月現在)

ご提案を希望される場合は、政策推進課・公民連携デスクまでご連絡ください。
【連絡先】0538-37-4805

No	総合計画の 位置づけ	テーマと概要										
7	まちづくりと防災への安心	沿岸部のにぎわい創出・活性化 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくも責任 つかう責任 17 パートナーシップで 目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>産業と自然が調和し、多様な魅力が溢れる賑わいのある沿岸地域を実現する</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td>・地域資源を活用したコンテンツが不足しており、関係人口・交流人口の拡大が課題 ・既存施設の利用促進や魅力向上が必要であり、沿岸部全体での回遊性や滞在性を高める取り組みが求められている ・賑わいを生み出すための継続的なイベントや観光資源開発における新たなアイデアが必要</td></tr><tr><td>現在の取組</td><td>・防潮堤整備工事(令和8年度完成予定) ・新産業の沿岸部への進出(エビ陸上養殖、空飛ぶクルマの製造等) 【参考】磐田市沿岸部未来ビジョン(R7.3) https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/kurashi_tetsuzuki/1014651.html</td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td>・市沿岸部における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・沿岸部施設、地元関係者、事業所などとの連携 ・地域観光資源や施設に関するデータ提供や、計画立案への支援 ・広報活動(市のウェブサイト、地域メディア、SNSなど)を通じた情報発信</td></tr><tr><td>担当課</td><td>企画部政策推進課及び提案内容により各担当課</td></tr></table>	目指す姿	産業と自然が調和し、多様な魅力が溢れる賑わいのある沿岸地域を実現する	課題・困り事	・地域資源を活用したコンテンツが不足しており、関係人口・交流人口の拡大が課題 ・既存施設の利用促進や魅力向上が必要であり、沿岸部全体での回遊性や滞在性を高める取り組みが求められている ・賑わいを生み出すための継続的なイベントや観光資源開発における新たなアイデアが必要	現在の取組	・防潮堤整備工事(令和8年度完成予定) ・新産業の沿岸部への進出(エビ陸上養殖、空飛ぶクルマの製造等) 【参考】磐田市沿岸部未来ビジョン(R7.3) https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/kurashi_tetsuzuki/1014651.html	提供できるサポート	・市沿岸部における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・沿岸部施設、地元関係者、事業所などとの連携 ・地域観光資源や施設に関するデータ提供や、計画立案への支援 ・広報活動(市のウェブサイト、地域メディア、SNSなど)を通じた情報発信	担当課	企画部政策推進課及び提案内容により各担当課
		目指す姿	産業と自然が調和し、多様な魅力が溢れる賑わいのある沿岸地域を実現する									
		課題・困り事	・地域資源を活用したコンテンツが不足しており、関係人口・交流人口の拡大が課題 ・既存施設の利用促進や魅力向上が必要であり、沿岸部全体での回遊性や滞在性を高める取り組みが求められている ・賑わいを生み出すための継続的なイベントや観光資源開発における新たなアイデアが必要									
		現在の取組	・防潮堤整備工事(令和8年度完成予定) ・新産業の沿岸部への進出(エビ陸上養殖、空飛ぶクルマの製造等) 【参考】磐田市沿岸部未来ビジョン(R7.3) https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/keikaku/kurashi_tetsuzuki/1014651.html									
		提供できるサポート	・市沿岸部における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・沿岸部施設、地元関係者、事業所などとの連携 ・地域観光資源や施設に関するデータ提供や、計画立案への支援 ・広報活動(市のウェブサイト、地域メディア、SNSなど)を通じた情報発信									
		担当課	企画部政策推進課及び提案内容により各担当課									
8	まちづくりと防災への安心	森林資源の活用 12 つくも責任 つかう責任 15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>森林資源を活用した取り組みを通じ、地域や企業とともに山づくりを進める</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td>・林業や森林を活用した事業がほとんどなく、放置された荒廃森林が多い ・豪雨災害時には山崩れや倒木が発生し、下流の市街地の被害の一因となった ・地域の中に担い手や活動の中心となる人物がいない</td></tr><tr><td>現在の取組</td><td>・「未来の農林業」連携懇話会による産官学連携の推進(大学の研究フィールド、企業の実証実験) ・無人ヘリを用いた森林計測による森林の見える化</td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td>・森林をフィールドとして提供 ・ステークホルダー(大学、地域おこし協力隊等)へのつなぎ</td></tr><tr><td>担当課</td><td>経済産業部農林水産課</td></tr></table>	目指す姿	森林資源を活用した取り組みを通じ、地域や企業とともに山づくりを進める	課題・困り事	・林業や森林を活用した事業がほとんどなく、放置された荒廃森林が多い ・豪雨災害時には山崩れや倒木が発生し、下流の市街地の被害の一因となった ・地域の中に担い手や活動の中心となる人物がいない	現在の取組	・「未来の農林業」連携懇話会による産官学連携の推進(大学の研究フィールド、企業の実証実験) ・無人ヘリを用いた森林計測による森林の見える化	提供できるサポート	・森林をフィールドとして提供 ・ステークホルダー(大学、地域おこし協力隊等)へのつなぎ	担当課	経済産業部農林水産課
		目指す姿	森林資源を活用した取り組みを通じ、地域や企業とともに山づくりを進める									
		課題・困り事	・林業や森林を活用した事業がほとんどなく、放置された荒廃森林が多い ・豪雨災害時には山崩れや倒木が発生し、下流の市街地の被害の一因となった ・地域の中に担い手や活動の中心となる人物がいない									
		現在の取組	・「未来の農林業」連携懇話会による産官学連携の推進(大学の研究フィールド、企業の実証実験) ・無人ヘリを用いた森林計測による森林の見える化									
		提供できるサポート	・森林をフィールドとして提供 ・ステークホルダー(大学、地域おこし協力隊等)へのつなぎ									
		担当課	経済産業部農林水産課									
9	まちづくりと防災への安心	中心市街地のにぎわい創出と活性化 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくも責任 つかう責任 17 パートナーシップで 目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>中心市街地に人が滞在し続け、常に賑わいのある活気ある街を実現する</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td>・イベントによる賑わいが一過性で終わり、リピーターが増えていない ・空地・空き店舗等遊休不動産の活用のため、まちづくりのコーディネートが必要 ・磐田駅北口広場の活用件数の減少 ・ほこみち来場者及び滞留時間の増加策</td></tr><tr><td>現在の取組</td><td>・各種イベント(軽トラ市、夏祭り、駅前イルミネーション等)の開催 ・軽トラ市におけるLINEを活用したシステム(店舗・イベント情報)の導入 ・まちづくり講演会</td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td>・空き店舗位置情報の提供 ・ステークホルダー(商店主、商店会連盟、商工会議所など)との連携支援 ・地域で活動するキーパーソンへの橋渡し</td></tr><tr><td>担当課</td><td>経済産業部経済観光課</td></tr></table>	目指す姿	中心市街地に人が滞在し続け、常に賑わいのある活気ある街を実現する	課題・困り事	・イベントによる賑わいが一過性で終わり、リピーターが増えていない ・空地・空き店舗等遊休不動産の活用のため、まちづくりのコーディネートが必要 ・磐田駅北口広場の活用件数の減少 ・ほこみち来場者及び滞留時間の増加策	現在の取組	・各種イベント(軽トラ市、夏祭り、駅前イルミネーション等)の開催 ・軽トラ市におけるLINEを活用したシステム(店舗・イベント情報)の導入 ・まちづくり講演会	提供できるサポート	・空き店舗位置情報の提供 ・ステークホルダー(商店主、商店会連盟、商工会議所など)との連携支援 ・地域で活動するキーパーソンへの橋渡し	担当課	経済産業部経済観光課
		目指す姿	中心市街地に人が滞在し続け、常に賑わいのある活気ある街を実現する									
		課題・困り事	・イベントによる賑わいが一過性で終わり、リピーターが増えていない ・空地・空き店舗等遊休不動産の活用のため、まちづくりのコーディネートが必要 ・磐田駅北口広場の活用件数の減少 ・ほこみち来場者及び滞留時間の増加策									
		現在の取組	・各種イベント(軽トラ市、夏祭り、駅前イルミネーション等)の開催 ・軽トラ市におけるLINEを活用したシステム(店舗・イベント情報)の導入 ・まちづくり講演会									
		提供できるサポート	・空き店舗位置情報の提供 ・ステークホルダー(商店主、商店会連盟、商工会議所など)との連携支援 ・地域で活動するキーパーソンへの橋渡し									
		担当課	経済産業部経済観光課									

民間事業者からの提案を希望するテーマ一覧(令和7年5月現在)

ご提案を希望される場合は、政策推進課・公民連携デスクまでご連絡ください。
【連絡先】0538-37-4805

No	総合計画の位置づけ	テーマと概要	
10	まちづくりと防災への安心	環境にやさしいライフスタイルの促進	
		目指す姿	家庭部門の温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロにする
		課題・困り事	・市民が環境に配慮したライフスタイルを自発的に実践できておらず、行動変容を促す効果的なプログラムが必要 ・環境問題を個人や家庭の課題として捉え、次世代へ継承することの重要性の理解が不十分 ・学校向けプログラムのマンネリ化しないよう、子どもたちや保護者への新たな働きかけが必要 ・プログラムやキャンペーン終了後に市民の取り組みが継続する仕組みづくりが必要
		現在の取組	・環境教育(小学生向け、中学生向けプログラムの提供) ・節電促進キャンペーン ・食品ロス削減キャンペーン
		提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・市内の関係者やステークホルダー(学校、地域団体、商業施設など)との連携 ・環境啓発プログラムに関するデータや教材、キャンペーンツールの提供 ・市の広報(ホームページ、SNS、地域メディア)を通じた取り組みの情報発信や宣伝協力
		担当課	環境水道部環境課
11	まちづくりと防災への安心	市内産業部門の脱炭素化	
		目指す姿	産業部門の二酸化炭素排出量を削減し、環境負荷の少ない地域経済を構築する
		課題・困り事	・市内で排出される二酸化炭素の半分以上を産業部門が占めており、産業分野の排出量削減が課題となっている ・市内事業者の大半が中小企業であり、脱炭素経営への関心は高まっているものの、ノウハウや費用面の課題が存在している
		現在の取組	・ゼロカーボンシティいわた賛同事業者の募集 ・脱炭素経営セミナーの実施 ・脱炭素経営促進事業費補助金の交付
		提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・市内関係者やステークホルダー(業界団体、エネルギー企業など)とのネットワーク構築 ・脱炭素化に必要な企業・産業の情報提供 ・広報活動(ホームページや地域メディアの活用)による取り組みの認知度向上
		担当課	環境水道部環境課・経済産業部産業政策課
	まちづくりと防災への安心	空き家の活用	
		目指す姿	空き家等に関する不安をなくし、安全で安心して暮らせるまちの実現
		課題・困り事	・市が保有している空き家情報の有効活用 ・空き家になる前に適切な対策を講じ、問題化を防ぐ仕組みづくり ・危険な空き家を早期に発見し、解消する体制の整備
		現在の取組	・地域おこし協力隊の活用(R7～) ・活用可能性調査事業の実施(R6～) ・連携協定(市民向け相談会等の実施)
		提供できるサポート	・「空き家カルテ」情報(所在地、築年数、危険度)の提供 ・空き家所有者の紹介(意向確認) ・地域や専門家との協力体制の構築支援(例: 不動産業者、建築業者とのネットワークづくり)
		担当課	建設部建築住宅課

民間事業者からの提案を希望するテーマ一覧(令和7年5月現在)

ご提案を希望される場合は、政策推進課・公民連携デスクまでご連絡ください。
【連絡先】0538-37-4805

No	総合計画の位置づけ	テーマと概要										
13	まちづくりと防災への安心	防災情報を確実に届ける(特に要配慮者向け) 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>災害時に防災情報の収集に困らない地域をつくり、全ての住民が安心して避難や対応ができる環境を整える</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td> ・情報収集手段として防災ラジオ(アナログ電波)を使用している住民があり、アナログ電波終了の可能性に備える必要がある ・要配慮者が安心して使える低コストかつ簡便な代替情報収集手段がない </td></tr><tr><td>現在の取組</td><td> ・メールやSNSでの情報発信 ・同報無線の電話応答サービスによる聞き逃し防止 </td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td> ・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・自主防災組織との連携(防災訓練に合わせた実証等) </td></tr><tr><td>担当課</td><td>危機管理課</td></tr></table>	目指す姿	災害時に防災情報の収集に困らない地域をつくり、全ての住民が安心して避難や対応ができる環境を整える	課題・困り事	・情報収集手段として防災ラジオ(アナログ電波)を使用している住民があり、アナログ電波終了の可能性に備える必要がある ・要配慮者が安心して使える低コストかつ簡便な代替情報収集手段がない	現在の取組	・メールやSNSでの情報発信 ・同報無線の電話応答サービスによる聞き逃し防止	提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・自主防災組織との連携(防災訓練に合わせた実証等)	担当課	危機管理課
		目指す姿	災害時に防災情報の収集に困らない地域をつくり、全ての住民が安心して避難や対応ができる環境を整える									
		課題・困り事	・情報収集手段として防災ラジオ(アナログ電波)を使用している住民があり、アナログ電波終了の可能性に備える必要がある ・要配慮者が安心して使える低コストかつ簡便な代替情報収集手段がない									
		現在の取組	・メールやSNSでの情報発信 ・同報無線の電話応答サービスによる聞き逃し防止									
		提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・自主防災組織との連携(防災訓練に合わせた実証等)									
担当課	危機管理課											
14	まちづくりと防災への安心	消防職員の確保と効果的な情報発信 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>消防の魅力や活動を効果的に発信し、消防職員の確保につながる仕組みを構築する</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td> ・高齢化に伴い救急件数が増加しており、効率的な対応が求められている ・少子化や社会情勢の変化により、消防職員のなり手が不足している ・磐田消防の活動や魅力を十分に認知してもらうための情報発信が不十分 </td></tr><tr><td>現在の取組</td><td> ・女性消防職員の活躍推進、PR活動 ・採用職員募集ポスターの作製 ・新庁舎の建設(2029年4月供用開始) </td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td> ・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・市内関係者やステークホルダー(消防団、医療機関、自治会など)との連携 ・広報活動への協力(市ホームページ、SNS、地域メディアの活用) </td></tr><tr><td>担当課</td><td>消防本部消防総務課</td></tr></table>	目指す姿	消防の魅力や活動を効果的に発信し、消防職員の確保につながる仕組みを構築する	課題・困り事	・高齢化に伴い救急件数が増加しており、効率的な対応が求められている ・少子化や社会情勢の変化により、消防職員のなり手が不足している ・磐田消防の活動や魅力を十分に認知してもらうための情報発信が不十分	現在の取組	・女性消防職員の活躍推進、PR活動 ・採用職員募集ポスターの作製 ・新庁舎の建設(2029年4月供用開始)	提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・市内関係者やステークホルダー(消防団、医療機関、自治会など)との連携 ・広報活動への協力(市ホームページ、SNS、地域メディアの活用)	担当課	消防本部消防総務課
		目指す姿	消防の魅力や活動を効果的に発信し、消防職員の確保につながる仕組みを構築する									
		課題・困り事	・高齢化に伴い救急件数が増加しており、効率的な対応が求められている ・少子化や社会情勢の変化により、消防職員のなり手が不足している ・磐田消防の活動や魅力を十分に認知してもらうための情報発信が不十分									
		現在の取組	・女性消防職員の活躍推進、PR活動 ・採用職員募集ポスターの作製 ・新庁舎の建設(2029年4月供用開始)									
		提供できるサポート	・市内における取り組み実施場所の提供(公共施設等) ・市内関係者やステークホルダー(消防団、医療機関、自治会など)との連携 ・広報活動への協力(市ホームページ、SNS、地域メディアの活用)									
担当課	消防本部消防総務課											
15	未来と仕事の安心	持続可能な農業の推進 2 気候変動に具体的な対策を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう <table><tr><td>目指す姿</td><td>自然環境を守りつつ生産性を向上させる農業技術や取り組みを導入し、将来にわたって持続可能な農業を実現する</td></tr><tr><td>課題・困り事</td><td> ・化学肥料の使用量低減、有機栽培農業の推進等、環境への配慮が求められている ・農作物のブランド化や販路拡大により、地域農業の競争力向上が必要 ・AIやICT技術を活用したスマート農業の推進により、生産性向上・効率化を図りたい </td></tr><tr><td>現在の取組</td><td> ・環境保全型農業直接支払交付金 ・地産外商事業 ・未来の農林業連携懇話会による産官学連携の推進 ・レモン産地化の推進 </td></tr><tr><td>提供できるサポート</td><td> ・農業者や関連事業者とのネットワーク構築を支援 ・農業に関する地域資源やデータ(生産状況、販路情報など)の提供 ・広報媒体を活用した情報発信(市ホームページ、SNS、地域メディア等) </td></tr><tr><td>担当課</td><td>経済産業部農林水産課</td></tr></table>	目指す姿	自然環境を守りつつ生産性を向上させる農業技術や取り組みを導入し、将来にわたって持続可能な農業を実現する	課題・困り事	・化学肥料の使用量低減、有機栽培農業の推進等、環境への配慮が求められている ・農作物のブランド化や販路拡大により、地域農業の競争力向上が必要 ・AIやICT技術を活用したスマート農業の推進により、生産性向上・効率化を図りたい	現在の取組	・環境保全型農業直接支払交付金 ・地産外商事業 ・未来の農林業連携懇話会による産官学連携の推進 ・レモン産地化の推進	提供できるサポート	・農業者や関連事業者とのネットワーク構築を支援 ・農業に関する地域資源やデータ(生産状況、販路情報など)の提供 ・広報媒体を活用した情報発信(市ホームページ、SNS、地域メディア等)	担当課	経済産業部農林水産課
		目指す姿	自然環境を守りつつ生産性を向上させる農業技術や取り組みを導入し、将来にわたって持続可能な農業を実現する									
		課題・困り事	・化学肥料の使用量低減、有機栽培農業の推進等、環境への配慮が求められている ・農作物のブランド化や販路拡大により、地域農業の競争力向上が必要 ・AIやICT技術を活用したスマート農業の推進により、生産性向上・効率化を図りたい									
		現在の取組	・環境保全型農業直接支払交付金 ・地産外商事業 ・未来の農林業連携懇話会による産官学連携の推進 ・レモン産地化の推進									
		提供できるサポート	・農業者や関連事業者とのネットワーク構築を支援 ・農業に関する地域資源やデータ(生産状況、販路情報など)の提供 ・広報媒体を活用した情報発信(市ホームページ、SNS、地域メディア等)									
担当課	経済産業部農林水産課											

民間事業者からの提案を希望するテーマ一覧(令和7年5月現在)

ご提案を希望される場合は、政策推進課・公民連携デスクまでご連絡ください。
【連絡先】0538-37-4805

No	総合計画の 位置づけ	テーマと概要	
16	未来と仕事の安心	いわたの魅力発信と交流人口の拡大	
		目指す姿	市内の特色ある産業や地域資源の魅力を効果的に発信し、市外からの交流人口を拡大することで地域の活性化を図る
		課題・困り事	・市内の誇るべき産業(製造業、農林業、漁業など)の魅力発信が不十分 ・産業や地域資源を気軽に体験できる施設やプログラムが不足
		現在の取組	・いわたおんぱく(地域資源を活かした体験型ゼミ)の開催(R6～) ・地域おこし協力隊を活用した市の魅力発信
		提供できるサポート	・ステークホルダー(商店主、商店会連盟、商工会議所等)との連携支援 ・SNSや地域メディアを活用した魅力発信の支援 ・地域おこし協力隊と協働した事業展開
		担当課	経済産業部経済観光課、企画部広報広聴・シティプロモーション課